

受入大学名	北海道大学		
Host University	Hokkaido University		
外国人研究者	ブワリヤ ユウジン チセラ		
Foreign Researcher	BWALYA EUGENE CHISELA		
受入研究者	奥村 正裕	職名	教授
Research Advisor	Masahiro Okumura	Position	Professor
受入学部/研究科	大学院獣医学研究院		
Faculty/Department	Faculty of Veterinary Medicine		

<外国人研究者プロフィール/Profile>

国籍	ザンビア共和国
Nationality	Republic of Zambia
所属機関	ザンビア大学
Affiliation	University of Zambia
現在の職名	講師
Position	Lecturer
研究期間	2019年07月02日 ~ 2019年09月29日 (90日間)
Period of Stay	90 days (July 02, 2019 - September 29, 2019)
専攻分野	獣医外科
Major Field	Veterinary Surgery



北海道大学獣医学研究院附属動物医療センターにおける
検査・診断風景 Touring the examination room at

<外国人研究者からの報告/Foreign Researcher Report>

①研究課題 / Theme of Research
Diagnostic Imaging For Orthopaedic and Cancer Cases; A learning Experience at Hokkaido University Veterinary Hospital
②研究概要 / Outline of Research
Research Objectives: 1. Gain experience, knowledge and develop skills in management of diagnostic imaging equipment; 2. Develop Researcher's Network; 3. Learn about conducting cases and research discussions; 4. Learn about administrative running of Diagnostic Facilities
③研究成果 / Results of Research
During my 90-days period from 2019.07.02 to 2019.09.29 I was involved in a number of activities at Hokkaido University Veterinary Hospital (HUVH). I was able to rotate around all the diagnostic facilities and learned a lot about management and operation of diagnostic equipment. I attended case and research discussions and was able to learn how to organize and carry out these activities. I was able to successfully adopt the equipment settings at HUVH and helped generate a list of equipment to be implemented at University of Zambia Veterinary Clinic (UNZAVET). I was also involved in research activities with two PhD students whose work culminated into publishable manuscripts where I have been included as a co-author.
④今後の計画 / Further Research Plan
With the research network that has been established, this will be used to promote research collaboration, knowledge transfer/exchange including case discussions. In addition this linkage with HUVH will be used to foster capacity building in Zambia during the implementation of the equipment at UNZAVET by engaging experts from HUVH to help train technical and academic members of staff at UNZAVET in management and operation of diagnostic equipment.

<受入研究者からの報告/Research Advisor Report>

①研究課題 / Theme of Research

北海道大学附属動物医療センターにおける最新獣医画像診断学を用いた犬整形外科症例及び腫瘍症例の臨床学的研究

②研究指導概要 / Outline of Research

当該研究者は、本研究室において、以下の研究に従事した。1) 獣医用の最新画像診断機器を用いた臨床研究の研究技術指導: デジタルX線、X線CTおよびMRIおよび画像処理装置を用いた臨床研究について。2) Translational Researchとして、犬腫瘍に対する抗PD-1臨床研究について、その技術的な背景および実際について。3) 犬の整形外科手術における最新技術的の可否を判断すべき臨床的問題点等

③研究指導成果 / Results of Research

今回実施した本学における研究を通して、当該研究者が所属するザンビア大学獣医学部における獣医学教育・研究の根幹となる臨床獣医学的研究における総合力の向上が達成できた。ザンビア大学では、獣医学教育の国際水準化を目指して教育・研究機能を高める投資が進められている(平成30年12月、エドガー・ルング・ザンビア共和国大統領来日時に、日本国政府との当該無償資金協力を調印)。そのため、申請者が留学中に経験できなかった基礎的研究と臨床研究をつなげるtranslational researchについて能力向上、特に最新臨床診断機器の臨床教育・研究への応用力を養うことが急務であった。本学では、獣医整形外科および腫瘍科における最新の獣医学的治療とそれを用いた研究の実際を体験した。整形外科学の分野では、特に動物の変形性関節症の病態修飾薬に関する臨床とその効果発現メカニズムに関する研究を本研究室の大学院生と実施した。在留期間中、研究の題材の一つである馬の材料と実地における臨床研究のため、短期間モンゴル国へも出張した。腫瘍科では、最新のリニアアクセラレータを用いた放射線治療、その効果判定のための最新画像診断機器の活用を行った。得られた成果は、共同で研究を行った大学院生とともに論文を作成し、投稿予定である。

④留学生交流事業の活動状況 / Activities of International Student Exchange Program

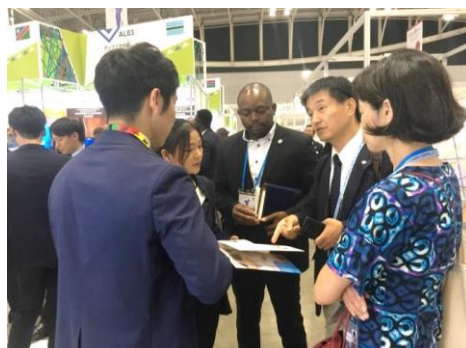
当該研究者は、本学において博士課程を修了後ザンビア共和国立ザンビア大学獣医学部において獣医学臨床分野の講師として奉職している。ザンビア大学獣医学部は、1983年に日本の支援により設立された獣医学部であり、本学はその中心として技術移転に関わってきた。現在、同獣医学部は現地教員で一定の教育・研究に関わるとともに、日本の感染症研究拠点としての機能も有している。今回の研究者の受入れを通して、今後、感染症分野に重点があった本学とザンビア大学の研究交流分野が、臨床獣医学分野へと拡大し、技術協力だけでなく、教育・研究交流へと発展し、双方において、地球規模の課題に取り組める獣医師・獣医学研究者養成の基盤となる関係構築が行われた。なお、研究者を受け入れた研究室では、日本の学生だけでなく、現在タイ、モンゴル、韓国、中国、ザンビアからの留学生が就学しており、相互の研究交流も活発に行われた。また、当該研究者は、本学で開催された国際シンポジウム(SaSSOH)に積極的に参加し、参加研究者との意見交換も行った。さらに、横浜で開催されたTICAD VII(東京アフリカ開発会議)にも参加し、アフリカからの参加者や今後の研究展開に必要なアフリカ進出日本企業との関係者とも交流し、今後の研究活動の基盤強化を図った。

⑤今後の計画 / Further Research Plan

受入れ指導者は、北海道大学アフリカ・ルサカオフィスの所長を兼任しており、今後とも研究者との直接的な交流を行おうと共に、研究の協働も行っていく。特に、現地での臨床獣医学的な課題に対する最新臨床獣医学的なアプローチを技術的にサポートしていくと共に、共同の研究課題としていきたいと考えている、そのため、基盤となる学生交流、特に優秀な留学生を積極的に現地から受け入れたい。



腫瘍の放射線療法の実施に関する研究 Touring the radiation therapy unit and assisting to setup a cancer patient



東京アフリカ開発会議(TICAD VII)における情報交換
Attending 7th Tokyo International Conference on African Development (TICAD) – Reviewing Fijifilm diagnostic imaging